

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。皆さん、こんには。ゴールデンウィークも過ぎ、初夏の季節となりました。新緑も爽やかです。体が調子を崩しやすい季節の変わり目。くれぐれもご自愛ください。

今年のかかわら版は、日常会話の中に浸透している仏教用語についてお伝えしています。

「愚痴」「我慢」「迷惑」「意地」が仏教用語であることを知り、ずいぶん分別がつかえてきました。これで心穏やかに過ごせます。何と何をでしようか。

「分別」は文字通り「分けること」「別にすること」。「分別」も仏教用語です。この「分別」が身の分別。この「分別」が身の分別。この「分別」が身の分別。

「あの人は迷惑だ」「あの人は我慢ならない」「あんなに憤り、意地でも許してやらない」「ああ嫌だ」と言っている愚痴をこぼすことは、自分とあの人を分別していることです。

何やら仏教用語のオンパレードですね(笑)。「分別」は、自分の固定観念、先入観、潜在意識で形成されている自分の価値観。その価値観で自分と自分以外の考えを分けること、別にすること。「分別」の結果、人間関係が悪くなる。それだけ、その原因は相手だけにある。自分にも「分別」の原因があることに気づくことが大切です。

したがって「あの人は分別がある人だ」「私は分別がある」という表現は、仏教的には後ろ向き。「あの人は傲慢です」「私には傲慢です」と言っているのと同じです。

仏教的には「分別がないこと」「無分別」は良い人間、とかく日常生活

で文句や愚痴が口から出ます。人間くさくて良いですね。でも、行き過ぎると、自らの文句や愚痴でだんだんストレスが溜まり、憂鬱になってきます。

社会や人間関係に不満や不足の思いがあると、文句や愚痴につながります。不満や不足の思いは、突き詰めると、自分の「思い通りにならない」「思いが原因です」。

分け隔てなく、人の意見に耳を傾け、何ごともありのままに受け入れる。それが仏教の精神です。分け隔てなく、分かり合うためには話し合うことが重要です。話し合うことは聞き合うこと。と教えています。

争いごとが起きたときは、お互いに自己主張するのではなく、相手の言うことを聞き合うことこそ大切です。それではまた来月まで。ごきげんよう。合掌。

## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ16年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学、中央大学大学院、藤田保健衛生大学医学部の客員教授も務めています。

好評発売中

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

弘法さんかわら版

大塚耕平著

大塚耕平著

弘法さんかわら版講座

仏教通史

大塚耕平

弘法さんかわら版講座

仏教とは何か

インドから中国、朝鮮、そして日本へ

仏教史と東アジア(日本史を)

一気読み通す「新・仏教読本」

大塚耕平

大法輪閣 (仏教書の老舗出版社) 営業部：電話 03-5466-1401

